

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2021年5月14日）

■第2版 第2刷（2020年9月5日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758113649_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第4章					
81	左段、小見出し「3）妊娠中の循環血液量の増加」8行目	また、循環血液量の増加により、1回の心拍出量や心拍数も増加する。	また、循環血液量の増加により、 血清アルブミン値が低下し 1回の心拍出量や心拍数が増加する。		21/05/14
83	右段、6行目	積極的に取り入れる。	積極的に取り入れる ことが望ましい 。		21/05/14
86	表5左、2行目	エネルギー kcal 62.5 65 67	エネルギー kcal 62.5 61 61		21/05/14
88	表8		※1参照		21/05/14
88	左段、最終行	約 7~12 kg	約 10~13 kg		21/05/14
89	左段、下から14行目	妊娠中は 完全に 飲酒を 止める ようにする。	妊娠中は飲酒を 控える ようにする。		21/05/14
89	左段、下から8行目	カフェインを多く含む 飲料の摂取を控えることが望ましい 。	カフェインを多く含む 食品の過剰摂取に注意する 。		21/05/14
89	右段、14行目	「 温湿度が厳しい 」	「 厳しい温湿度条件である 」		21/05/14
94	表12、「妊娠中の体重増加は、お母さんと赤ちゃんにとって望ましい量に」2行目	推奨体重増加量を目安に 。	日本産科婦人科学会が提示する「 妊娠中の体重増加指導の目安 」を参考に。		21/05/14
94	表12、「葉酸摂取について」	二分脊椎などの神経管閉鎖障害の 発生を減らすためには 、妊娠前から妊娠初期の 葉酸の摂取が重要であることが知られています 。葉酸は、ほうれんそう、ブロッコリーなどの 緑黄色野菜や、いちご、納豆など、身近な食品に多く含まれています 。日ごろからこうした食品を多くとるように心がけましょう。葉酸の添加された食品やサプリメントもありますが、 とりすぎには注意が必要です	二分脊椎などの神経管閉鎖障害の 発症予防のため 、妊娠前から妊娠初期の 女性 は、 食事に加え、サプリメントなどによって付加的に1日あたり400μgの葉酸 摂取が望まれます。ただし、 とりすぎには注意が必要です		21/05/14
94	表12、「魚介類に含まれる水銀について」2行目	一部の魚 ばかりに偏って 、毎日たくさん食べることは避けましょう	水銀濃度が高い一部の魚だけに偏って 毎日たくさん食べることは避けましょう		21/05/14
94	表12、「妊娠中の食中毒予防について」2行目	リステリア	リステリア 菌		21/05/14
94	表12、「妊娠中の食中毒予防について」3行目	これらの多くは、 原因となる病原体が付着した食品を食べることによって起こります 。日ごろから食品を十分に洗浄し、 加熱するなど、取り扱いに注意しましょう	感染を防ぐため 、妊娠中は 生ハムや加熱殺菌していないナチュラルチーズなどをなるべく避け、食品を十分に加熱して食べましょう 。そして、 食中毒予防のために 、日頃から食品を十分に洗浄し、 加熱するなど、その取り扱いに注意しましょう		21/05/14
94	左段、4行目	母子健康手帳の任意記載事項（ 2018年12月 ）	母子健康手帳の任意記載事項（ 2021年4月 ）		21/05/14
94	右段、6行目	「 ふつう 」	「 普通体重 」		21/05/14
95	左段、下から13行目	を引き起こして、エストロゲンの分泌低下により骨量の低下も引き起こしてしまう	を引き起こし たり 、エストロゲンの分泌低下により骨量の低下 を 引き起こしてしまう		21/05/14

95	左段, 下から7行目	厚生労働省は 妊産婦のための食生活指針(2006年) で, 体格区分(非妊娠時)別に妊娠期間中の 推奨体重増加量 や 1週間当たりの推奨体重増加量 を示している(表8)。妊娠前の体格区分が, 低体重(やせ)(BMI < 18.5 kg/m ²)の場合の 推奨体重増加量 は「 9~12 kg 」であり, ふつう (18.5 kg/m ² ≤ BMI < 25.0 kg/m ²)の場合の 推奨体重増加量 は「 7~12 kg 」である。また, 肥満(BMI ≥ 25.0 kg/m²) の場合は, BMI が25.0をやや超える程度の場合は おおよそ5 kg を目安とし, 著しく超える場合には他のリスクなど考慮しながら, 臨床的な状況を踏まえて個別対応 としている。	厚生労働省は 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針(2021年) で, 体格区分(非妊娠時)別に妊娠期間中の 体重増加指導の目安 を示している(表8)。妊娠前の体格区分が, 低体重(やせ)(BMI < 18.5 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は「 12~15 kg 」であり, 普通体重 (18.5 kg/m ² ≤ BMI < 25.0 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は「 10~13 kg 」である。また, 肥満(1度) (25.0 kg/m ² ≤ BMI < 30.0 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は 7~10 kg , 肥満(2度) (BMI ≥ 30.0 kg/m ²)では 個別対応(上限5 kgまでが目安) としている。		21/05/14
96	右段, 1行目	胎児に 伝わるが	胎児に 伝わり		21/05/14
97	左段, 4行目	必要である。 食事は, 適正なエネルギーや栄養素の摂取を心がける。 血糖……	必要である。 血糖……	一文を削除ください	21/05/14
98	右段, 見出し「J. 妊産婦のための食生活指針」3行目	「妊産婦のための食生活指針」として, 表17の 9 項目があげられている。	「妊産婦のための食生活指針」が 示され, さらに2021年3月に「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」として, 表17の10 項目があげられている。		21/05/14
99	表17		※2参照		21/05/14
99	図11		※3参照		21/05/14
103	文献8	8)「日本標準食品成分表 2015年版(七訂) 」(文部科学省) (http://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/1365297.htm)	8)「日本食品標準成分表 2020年版(八訂) 」(文部科学省) (https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html)		21/05/14
103	文献10	10)「 妊産婦のための食生活指針—「健やか親子21」推進検討会報告書 」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/02/dl/h0201-3a3-02f.pdf), 2006	10)「 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針 」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/ninpu-02.html), 2021		21/05/14
103	文献12	12)「母子健康手帳の様式について: 任意様式」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/content/000463619.pdf)	12)「母子健康手帳の様式について: 任意様式」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshihoken/kenkou-04.html)		21/05/14
103	文献17, 18	17)「 妊産婦のための食生活指針 」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/02/h0201-3a.html), 2006 18)「 妊産婦のための食事バランスガイド 」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/02/dl/h0201-3b02.pdf)	17) 妊産婦のための食事バランスガイド 。「 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針 」リリーフレット」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/content/000769970.pdf), 2021	文献18は削除ください	21/05/14
104	Q1	Q1 妊娠期における 推奨体重増加量 について説明しなさい。	Q1 妊娠期における 体重増加指導の目安 について説明しなさい。		21/05/14
104	A1	A1 厚生労働省は, 妊産婦のための食生活指針(2006年) で, 体格区分(非妊娠時)別に妊娠期間中の 推奨体重増加量 や 1週間当たりの推奨体重増加量 を示している(表8)。妊娠前の体格区分が, 低体重(やせ)(BMI < 18.5 kg/m ²)の場合の 推奨体重増加量 は「 9~12 kg 」であり, ふつう (18.5 kg/m ² ≤ BMI < 25.0 kg/m ²)の場合の 推奨体重増加量 は「 7~12 kg 」である。また, 肥満(BMI ≥ 25.0 kg/m²) の場合は, 個別対応 としている。	A1 厚生労働省は, 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針(2021年) で, 体格区分(非妊娠時)別に妊娠期間中の 体重増加指導の目安 を示している(表8)。妊娠前の体格区分が, 低体重(やせ)(BMI < 18.5 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は「 12~15 kg 」であり, 普通体重 (18.5 kg/m ² ≤ BMI < 25.0 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は「 10~13 kg 」である。また, 肥満(1度) (25.0 kg/m ² ≤ BMI < 30.0 kg/m ²)の場合の 体重増加指導の目安 は 7~10 kg であり, 肥満(2度以上) (BMI ≥ 30.0 kg/m ²)の場合は, 個別対応 としている。		21/05/14

※1 以下の表への差し替えをお願いいたします。

表8 妊娠中の体重増加指導の目安*1

妊娠前の体格*2		体重増加指導の目安
低体重(やせ)	BMI 18.5未満	12～15 kg
普通体重	BMI 18.5以上25.0未満	10～13 kg
肥満(1度)	BMI 25.0以上30未満	7～10 kg
肥満(2度以上)	BMI 30以上	個別対応 (上限5 kgまでが目安)

*1 「増加量を厳格に指導する根拠は必ずしも十分ではないと認識し、個人差を考慮したゆるやかな指導を心がける。」産婦人科診療ガイドライン—産科編 2020 CQ010より

*2 体格分類は日本肥満学会の肥満度分類に準じた。
(文献10より引用)

※2 以下の表への差し替えをお願いいたします。

表17 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針

1) 妊娠前から、バランスのよい食事をしっかりととりましょう
2) 「主食」を中心に、エネルギーをしっかりと
3) 不足しがちなビタミン・ミネラルを、「副菜」でたっぷりと
4) 「主菜」を組み合わせでたんぱく質を十分に
5) 乳製品、緑黄色野菜、豆類、小魚などでカルシウムを十分に
6) 妊娠中の体重増加は、お母さんと赤ちゃんにとって望ましい量に
7) 母乳育児も、バランスのよい食生活のなかで
8) 無理なくからだを動かしましょう
9) たばこやお酒の害から赤ちゃんを守りましょう
10) お母さんと赤ちゃんのからだと心のゆとりは、周囲のあたたかいサポートから

(文献10より引用)

※3 以下の図への差し替えをお願いいたします。



図 11 妊産婦のための食事バランスガイド
(文献17より引用)